

No.③	分類	3-(2)-ア	資料名	友だちになろう	学年	1・2年 共通	関連領域例	特別活動(学級活動)	
								道徳科	C-(16) 国際理解

### 1 ねらい

- (言葉や文化の)違いを受け入れ、外国の人や文化を知り、進んで触れ合おうとする。

### 2 趣旨

- 引っ越し当初の不安な気持ちや、互いの国の遊びで交流したときの楽しいぼくの気持ちに共感させることで、外国の人々と親しくすることの喜びに気付かせる。
- 遊びにとどまらず食、言語、昔話、服装などその国や地域の文化を知ることは自分の人生を豊かにすることに気付かせ、進んで他国の文化を知ろうとする意欲を養う。

### 3 配慮事項

- 外国にルーツをもつ児童※等がいる現状を踏まえ、一個人として温かく接することができるようにする。
- 遊びを通して他国や他地域の文化の楽しさが味わえるよう、他国や他地域の遊びをする活動を取り入れたい。
- 自国でよく見かける衣・食・住等のベトナムの文化についてインターネット等で調べておくといよい。世界の遊びについても同様。

### 4 展開例

学習内容	指導上の留意点
1 ベトナムについて知っていることを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォーやアオザイ等、日本でもよく見るベトナム文化に関する資料を用意し、資料に興味をもてるようにする。</li> </ul>
2 資料を読んで、ぼくの気持ちを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国からの転入である点をおさえることで、自己紹介や日本語を勉強するときのぼくの期待だけでなく不安も想像できるようにする。</li> </ul>
<p>みんながよってきたとき、ぼくはどんな気持ちだったでしょう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちになれるかな。うれしい。</li> <li>・ ぼくの絵よかったのかな。</li> <li>・ この絵が何か知りたいのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵をほめてもらえたぼくのうれしい気持ちだけでなく、友だちの興味のもち方も想像させることで、外国の文化にも目を向けさせる。</li> </ul>
<p>友だちとベトナムや日本の遊びをしているとき、ぼくはどんなことを考えていたでしょう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなと仲良くなれた。</li> <li>・ 日本の遊びも楽しいな。</li> <li>・ 国は違っても似ている遊びがあるな。</li> <li>・ ベトナムの他の遊びも一緒にしたいな。</li> <li>・ もっと遊びたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一緒に遊んでいる友だちの気持ちも想像させ、お互いの国の遊びを楽しんでいることをおさえる。</li> <li>・ 「遊びは楽しい」と単に捉えるのではなく、他の国の遊びが楽しいこと、遊ぶことでもっと仲良くなっていることに気付かせ、互いの国の遊びを知る良さについて考えさせる。</li> </ul>
3 他の国の人と仲良くなるためにできることを考える。	
<p>他の国の人と仲良くなるために、やってみたいことを考えよう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろんな国のじゃんけんをしたいな。</li> <li>・ 他の国にはかくれんぼはあるのかな。</li> <li>・ ボールを使う遊びはどんなのがあるかな。</li> <li>・ 人気の食べ物を調べたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員が調べた世界の遊びを紹介したり、児童が遊びを探したりして、世界の文化に興味をもたせる。</li> <li>・ 遊びの他にも、言葉や服装、食べ物などの視点が出れば取り上げ、広く異文化に関心をもてるようにする。</li> </ul>

※本書における「外国にルーツをもつ児童」とは

国籍に関わらず、父・母の両方またはそのどちらかが外国出身者である児童のほか、以下にあたる児童も含む。「外国人幼児児童生徒等」「外国につながる児童」とも言う。

- ・ 両親ともに日本国籍だが、外国で生まれ育った子ども
- ・ 外国に滞在経験のある子ども